

高南小学校 第 2 学年 「算 数 科」シラバス

学年の学習到達目標

具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにします。数の意味や表し方について理解を深めるとともに、加法（たしざん）及び減法（ひきざん）の意味について理解を深め、用いることができるようにします。また、乗法（かけざん）の意味を理解し、その計算の仕方を理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにします。

具体物を用いた活動などを通して、長さの単位や測定についての理解ができるようにし、量の大きさについての感覚を豊かにします。

具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を一層重ね、図形についての感覚を豊かにします。

評価方法

単元ごとの評価規準を設け、

単元ごとのテスト

ドリル学習

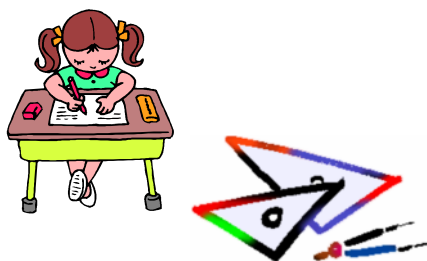
授業中の意欲態度

ノートのとりかた

定着学習のまとめプリント

家庭学習

などにより総合的に評価します。



おうちの方へ

児童の思考の援助として、具体物やプリント等を用意して授業を展開します。

一人ひとりの児童へのきめ細かな指導を目指し、つまずきを見逃さず、個人指導を充実させて、基礎・基本の徹底を図っていきます。

かけ算やたし算・ひき算の学習では、繰り返し学習が大切ですので、家庭での練習が必要になります。ご協力をお願いします。

月	学習すること	学習のねらい
4	ひょうとグラフ	・身近な事柄を進んで調べ、分かりやすく分類して表やグラフに表そうとしている。
5	1000までの数 たし算のひっ算	・具体的なものの個数を10や100のまとまりにして、数えようとする。 ・加法の筆算は位ごとに計算するので(1位数)+(1位数)の計算を繰り返せばよいことに気づき、既習事項をもとに計算の仕方を考えることができる。
6	ひき算のひっ算 いろいろな形	・(2位数)+(2位数)の逆の減法で、位ごとに計算する筆算の仕方とその意味がわかる。 ・平面図形の特徴や機能的な面に着目し、形の構成を考えることができる。
7	とけい	・基本的な平面図形の特徴や性質が分かる。
9	たし算とひき算 長さ	・自分の日常生活と時刻を関連させてとらえようとする。 ・加法及び減法について理解を深め、それらを用いる能力を伸ばす。 ・加法と減法の相互関係について理解する。 ・ものさしを用い、cmとmmを単位として測ることができ、決まった長さの直線を引くことができる。 ・長さを表す単位cm、mmを知ると共に、長さを表すには、cm、mm単位を用いなければならないことが分かる。
10	かけ算(1)	・乗法の意味を理解すると共に、乗法の答えは、同数累加と同じ答えになることが分かる。
11	かけ算(2)	・乗法のきまりに着目して、九九の構成を考えることができる。
12	かけ算(3)	・乗法のきまりを用いて、九九を構成すると共に、2の段から5の段までの九九を唱えることができる。
1	かけ算(4)	・乗法のきまりを用いて、九九を構成すると共に、6の段から9の段、1の段の九九を唱えることができる。
2	長さ(2) 1000より大きい数	・乗法の意味及び答えの求め方が分かる。 ・九九を構成する中で、乗法のきまりに着目して考えることができる。 ・乗法のきまりを用いて、乗九九を構成できる。 ・1mのものさしを使って長さを測ることができる。また、長さの加法性を理解し、簡単な加法減法ができる。 ・長さの単位1mを知り、1mと1cmの相互関係が分かる。 ・4位数までの数を書いたり読んだりすることができる。
3	三角形と四角形	・4位数までの数の表し方、大小、順序などが分かる。 ・三角形や四角形をかき表したり、切ったり折ったりして、図形を観察、分類することができる。 ・ものの形についての観察や構成などの活動を通して、図形の性質を考えることができる。
4	たし算とひき算(2)	・問題場面を構成をテープ図などに表し、それらを簡潔にとらえることができる。 ・テープ図を読み取り、立式することができる。
5	2年のまとめ	・2年で学習したことに進んで取り組み、学習のまとめをしようとする。 ・既習の計算や作図が適切にできる。 ・既習の用語や定義、性質が分かる。

